

令和2年2月14日

各 位

気仙沼信用金庫

「絵本 de えがおプロジェクト」における冊子絵本の贈呈について

1. 背景

東日本大震災や熊本地震等で被災した子供たちを励まそうと、福岡県遠賀町の絵本作家 さかいみるさんが描いた絵本を配布するプロジェクトが行われております。

今回は、第9回目として冊子絵本『にじ』が作製されております。

本プロジェクトにおける絵本の製作費用等は、全国の賛同された方々からの協賛金等の支援で賄われていますが、全国から支援の輪がさらに広がり、今回を含めこれまでに合計 154,200 冊が印刷製本されております。

2. 今回の取組み

当金庫では、絵本作家さかいみるさんが描く「黒猫メチャくん」を通帳や看板のキャラクターとして使っている福岡県の遠賀信用金庫（福岡県遠賀郡岡垣町）と連携して本プロジェクトに取り組んでおります。

昨年度に続き、当金庫を含め宮城県内の5金庫が本取組みに賛同し、宮城県信用金庫協会として協賛金を拠出するとともに、当金庫を通じて、気仙沼市や南三陸町、大船渡市、陸前高田市の幼稚園等の施設へ1,800冊を贈呈することとなりました。

3. その他

気仙沼市等の幼稚園等の施設へ順次配布いたします。



気仙沼信用金庫

【贈呈の様子（令和2年2月14日）】



園児に絵本を手渡す菅原理事長



お礼に跳び箱を披露する園児たち

【冊子絵本について】

今回第九作目となる冊子絵本「にじ」は、主人公の「黒猫メチャくん」がお友達と一緒に「こころ湖」という湖にお友達のコロちゃん達と出掛け、にじを見るという内容です。登場する動物やキャラクターが愛らしく描かれ、日本語と英語で、心温まる物語が展開されています。

さかいさんは、震災後、夫であるデザイナーの境修一郎さんと被災地に冊子絵本を贈ることを企画し、実行委員会を作って全国の賛同者に協賛金を募り、次のとおり製作を続けています。

震災直後の2011年春に第一作「きみのこと とっても すきさ」

2012年夏 第二作「ありがとう」

2013年秋 第三作「きみのともだち」

2014年冬 第四作「ぼくがうまれたひ」

2015年冬 第五作「はじめまして」

2016年冬 第六作「おてがみ」

2017年冬 第七作「Picnic」

2018年冬 第八作「おちゃのじかん」

2019年冬 第九作「にじ」

